

# しずおかの生協

## 2023



静岡県生活協同組合連合会

# ごあいさつ

静岡県生活協同組合連合会  
会長 稲垣 滋彦



日頃は、私ども静岡県生活協同組合連合会（以下、県生協連）の活動に対し、多大なるご理解、ご協力を賜わり、まことにありがとうございます。

昨年、2月24日のロシアによるウクライナ侵攻は、世界に大きな衝撃を与えました。依然として、戦争の終結を見通すことができません。戦争の継続ではなく、国連憲章に基づく、話し合いによる解決を強く望みます。

全国各地で自然災害が相次ぎ発生しています。被災地支援につきましては、県生協連は県社会福祉協議会・県ボランティア協会と「自然災害等発生時における災害ボランティア活動支援に関する協定」を結ぶことができました。また、会員生協の支援と協力により、「フードバンクふじのくに」の活動も広がっています。本当にありがとうございます。生活協同組合は助け合いの組織です。自分だけでなく、困っている人を思い、活動する各会員生協の皆様から感謝します。

私たちはこの間、活動を通じて、組合員の暮らしの向上と住みよい地域づくりに努力してきました。しかし、毎年のように発生する自然災害、食品を中心とした物価の高騰、電気料金の値上げなど、暮らしを取り巻く環境は厳しくなっています。2023年度は引き続き「平和で安心して暮らせる活動を推進し、住みよい地域づくりへの貢献」「会員生協の活動支援につながるよう、行政や諸団体との関係づくりの強化」の2点を継続して掲げました。会員生協や行政、地域の諸団体の皆様とともに、県民の平和でよりよい生活につながるよう取り組みを進めてまいります。変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 目次

会長ごあいさつ.....	1
静岡県生活協同組合連合会概要／2023年度役員.....	2
協同組合とは.....	3
コープSDGs 行動宣言.....	3・4
2022年度の取り組み	
防災・減災.....	5
平和・核兵器のない世界に向けて.....	6
暮らし・フードバンク・生活困窮者支援.....	7
協同組合間連携、諸団体との協同・連携.....	8・9
2023年度活動方針.....	10
地域購買生協 2022年度市郡別組合員数	
・加入率状況.....	11
2022年度行政及び日本生連・行政関係の	
各種役員一覧表 .....	12
会員生協紹介.....	13-30

# 静岡県生活協同組合連合会 概要

設立 1967年6月30日      認可 1967年9月29日

静岡県生活協同組合連合会（県生協連）は、9会員が加盟している生活協同組合（生協）の連合会です。会員生協とともに県民の平和でよりよいくらしに貢献することをめざして活動しています。

理事会は会員生協の役員を中心に構成され、各生協の事業や活動を支援するとともに、行政、友誼団体との連携をすすめています。また日本生活協同組合連合会との連絡窓口を担っています。

地域生協、大学生協、職域生協、共済生協、医療生協がそれぞれ地域、大学、職場等で組合員の要求にこたえる事業を展開しています。2022年度の事業高・組合員数は以下の通りです。

区分	会員生協	事業高 (千円)	組合員数 (人)
地域	生活協同組合ユーコープ	58,423,583	553,788
	生活協同組合パルシステム静岡	4,901,931	41,694
	生活クラブ生活協同組合	1,044,263	4,114
	あいち生活協同組合	815,464	7,962
大学	静岡大学生生活協同組合	1,476,807	12,733
職域	スズキ生活協同組合	719,482	20,994
	静岡県教職員生活協同組合	317,878	28,095
共済	静岡県労働者共済生活協同組合	43,650,235	478,460
医療	浜北医療生活協同組合	499,163	4,664

\*ユーコープとあいち生協の事業高・組合員数は、静岡県内での活動による数値です。

# 2023年度役員体制

- 会 長      稲垣 滋彦(代表理事)  
生活協同組合ユーコープ 顧問
- 副会長      鈴木 隆博  
静岡県労働者共済生活協同組合 理事長
- 専務理事      飯田 知男(代表理事)  
生活協同組合ユーコープ 執行役員
- 常務理事      中村 範子  
員 外
- 常務理事      望月 美可  
員 外
- 理 事      大石 裕美  
生活協同組合ユーコープ 理事
- 理 事      神谷 昇  
静岡県教職員生活協同組合 理事長
- 理 事      木下 和  
生活クラブ生活協同組合 専務理事
- 理 事      酒井 優司  
静岡県教職員生活協同組合 常務理事
- 理 事      佐宗 健二  
浜北医療生活協同組合 専務理事
- 理 事      清水 久美子  
生活協同組合ユーコープ 理事
- 理 事      田口 圭子  
生活協同組合パルシステム静岡 常任理事
- 理 事      寺西 道治  
あいち生活協同組合 理事長
- 理 事      藤崎 稔  
スズキ生活協同組合 常務理事
- 理 事      棟田 光彦  
静岡大学生生活協同組合 専務理事
- 監 事      内田 光貴  
生活協同組合パルシステム静岡 組織運営部部長
- 監 事      遠藤 さとみ  
生活協同組合ユーコープ 監事

## 協同組合とは

協同組合は、共通の目的を持った人同士が自発的に集まって作る経済組織です

自分たちでお金(出資金)を出し合い、組合員となって事業を利用し、組合員として運営にかかわっています。協同組合は、組合員の民主的な参画を大切にしています。多くの協同組合では総会あるいは総代会で運営の基本方針を決めて、日常的な運営は選挙で選ばれた組合員代表が行う代議制がとられています。組合員は出資金の大小にかかわらず、一人一票の投票権と決定への参加権を持っています。

日本をはじめ世界各国にさまざまな協同組合があります。どの協同組合も、組合員の願いを実現するために人々が自発的に手を結んだ組織です。協同組合は、19世紀にイギリスで始まり世界各地に広がりました。日本では、のべ1億700万人超が協同組合に組合員として加入しています。業種は農林水産業・購買・金融・共済・就労創出・福祉・医療・旅行・住宅など多岐にわたります。

生協は「生活協同組合」の略で、数ある協同組合の一つです

消費者一人ひとりがお金(出資金)を出し合い組合員となり協同で運営・利用する組織です。生協には、購買生協(地域生協、職域生協、大学生協)、医療福祉生協、共済生協などがあります。日本国内には暮らしに密着した様々な分野で活動している552の生協があります。

全国の生協の2022年度の組合員総数は3,054万人、総事業高は3兆7,311億円、地域生協の世帯加入率は39.3%です。生協は日本最大の消費者団体でもあります。

略称としてよく使われる「コープ」は、「協同組合」を表す「Co-operative(コーペラティブ)」の「Co-op」を日本語読みにしたものです。

## 持続可能な開発目標 (SDGs) と協同組合

2015年の9月25～27日、ニューヨーク国連本部において「国連持続可能な開発サミット」が開催され、「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。ここでは「誰一人取り残さないこと」が基本理念として掲げられ、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、宣言および目標が掲げられました。この目標が、ミレニアム開発目標(Mdgs)の後継であり、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」です。この中で協同組合は、SDGsの達成にあたり役割を果たすべき民間セクターの一つとして明記されています。

### コープSDGs 行動宣言 (第68回日本生協連通常総会・特別アピール)

私たち生協は、SDGs(持続可能な開発目標)に貢献することを約束(コミット)します。私たちは、「生協の21世紀理念(1997年総会決定)」のもと、助け合いの組織として、誰もが笑顔でくらすことができ、持続可能な社会の実現をめざし、様々な取り組みを進めてきました。誰も取り残さないというSDGsのめざすものは、協同組合の理念と重なり合っています。私たちは、あらためて持続可能な社会の実現に向けて取り組むことを、「SDGs行動宣言」としてまとめました。私たちは、以下の7つの取り組みをつうじて、世界の人々とともにSDGsを実現していきます。

### 世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します

私たちは、誰一人取り残さない世界をめざして、世界が抱える問題についての理解を深め、助け合いの精神を貫き、ユニセフ募金などに取り組み、世界の子どもたちを支援します。「貧困」の連鎖をなくしていくために、子どもの貧困について学び、話し合う活動を広げ、子ども食堂やフードバンク・フードドライブなどの取り組みを進めます。



### 健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます

私たちは、食生活、運動、社会参加の視点から健康づくりを進めます。安全・安心はもとより、より健康な食生活に向けた商品事業と組合員活動を推進します。生活習慣病や介護予防など「予防」を重視し、福祉事業や助け合い活動を広げ、自治体や諸団体と連携し、地域包括ケアシステムのネットワークに参画します。



### 誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します

私たちは、誰一人取り残さず、安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します。自治体や諸団体との連携を大切にしつつ、地域の見守り、移動販売や配食事業など、生協の事業や活動のインフラを活用し、地域における役割発揮を進めます。



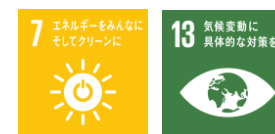
### ジェンダー平等（男女平等）と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します

私たちは、地域における活動を通じて、社会のジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会の実現に貢献します。女性も男性も、誰もが元気に、生きがいを持って働き続けられる生協づくりを進めます。



### 地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します

私たちは、地球の持続可能性を揺るがす気候変動の脅威に対して、意欲的な温室効果ガス削減目標（2030年環境目標）を掲げ、省エネルギーと再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組みます。再生可能エネルギーの電源開発や家庭用電気小売を広げ、原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換をめざします。



### 持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます

私たちは、「つくる責任」と「つかう責任」の好循環を発展させ、持続可能な社会づくりをめざします。国内外の人々、そして限りある地球資源へ思いをはせ、商品の開発と供給を進めます。学習活動を通じて、エシカル消費や持続可能な社会に関する理解を促進し、私たち自らの消費行動やくらしのあり方を見直していきます。



### 核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します

私たちは、「核なき世界」の実現のために、世界の人々と手を携えて、核兵器を廃絶し、平和な社会をめざす取り組みを進めます。私たちは、次の世代に被爆・戦争体験を継承し、日本国憲法の基本原則である平和主義のもと世界平和の実現に積極的に貢献します。



# 2022年度活動報告(取り組んだこと)

方針1. 平和で安心して暮らせる活動を推進し、住みよい地域づくりに貢献します。

(1) 自然災害等の緊急時に備える取り組みをすすめます。



## 【被災地支援活動】

台風15号による9月23日夜からの豪雨災害発生に際し、県生協連として県災害ボランティア本部・情報センター（以下、県災害V本部）に参集し情報収集に務めました。県災害V本部からの要請を受け、社会福祉施設への飲料水の運搬や施設復旧支援活動への対応をユーコープと協議しながら進めました。

また紙おむつの提供要請を受け、ユーコープ商品調達部の協力をいただき、紙おむつ500枚などを高齢者福祉施設に寄贈しました。



## 【災害時のネットワークづくり】

自然災害発生時の連携・協同関係づくりをめざし、「南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会」「災害時のちえ袋ワークショップ」「災害支援活動を行う県域団体との情報交換会」（写真）に参加し、災害支援団体との交流・連携をすすめています。



## (2) 核兵器廃絶と平和な社会の実現をめざした取り組みをすすめます。



### 【日本政府に核兵器禁止条約批准を求める署名（核兵器禁止条約批准署名）の取り組み】

県生協連として核兵器禁止条約批准署名推進静岡県連絡会に参加し、諸団体と連携しながら県内での活動をすすめ、92,565筆（うち県生協連会員生協計60,559筆）が寄せられました（2022年12月末まで）。

### 【ヒロシマ平和の旅】

毎年8月に実施している「ヒロシマ平和の旅」は昨年に続き中止としましたが、日本生協連「ピースアクションinヒロシマ・ナガサキ」のWEB視聴参加を呼びかけました。

### 【3・1ビキニ事件を伝え核兵器廃絶を求める取り組み】

人類初の水爆犠牲者となった第五福竜丸無線長・久保山愛吉さんを悼み核兵器廃絶を求める取り組みとして、平和行進、9・23焼津行動、3・1ビキニデーを静岡県原水爆被害者の会等の諸団体ともに開催しました。3・1ビキニデーは2019年以来4年ぶりに現地開催され、久保山愛吉氏墓参行進・墓前祭に700名、ビキニデー集會に800名、オンライン視聴に661名が参加しました。静岡県生協連は墓前に供えるバラの花の手配・販売、行進副リーダー、ビキニデー集會司会・参加者受付などを担いました。



### (3) 組合員の関心が高い暮らしに関わる取り組みをすすめます。



#### 【暮らしに役立つセミナー2022の開催】

「暮らしに役立つセミナー2022 暮らしの中から考えるジェンダー平等」をハイブリッド形式で開催し、40名（会場参加23名、オンライン参加17名）が参加しました。講師の犬塚協太静岡県立大学教授から、ジェンダー平等について、現在のジェンダー問題、将来のジェンダー平等社会に向けた課題と求められる行動について幅広い内容で講演がされました。



#### 【「フードバンクふじのくに」の活動】

夏季・冬季一斉フードドライブにユーコープ静岡県内全17店舗、こくみん共済coop共済ショップ4店舗、浜北医療生協きたはま診療所で実施しました。

また寄付された食料品の仕分け作業に会員生協役職員が参加しました。

このほか、賛助会員への登録（あいち生協・静岡県教職員生協）や独自のフードドライブ（パルシステム静岡）、寄付金（こくみん共済coop、ユーコープ）も行われました。



#### 【ひとり親家庭への支援】

9月に静岡県母子寡婦福祉連合会※が取り組む「静岡県ひとり親会 食生活応援事業」に賛同し、コープ商品13品目（パックご飯、ホットケーキミックス、お菓子など）の調達に協力しました。また、12月には静岡県労働者福祉協議会が進める「ひとり親家庭への支援取組について」に賛同し、コープ商品の手配と箱詰め作業を行いました。ユーコープ宅配センターに食料品（18品目）などが事前に納品され650セットの箱詰めを行いました（写真）。食料品セットは静岡県母子寡婦福祉連合会、シングルペアレント101を通じひとり親家庭に配布されました。



※現・・・静岡県ひとり親福祉連合会



## 方針2. 会員生協の活動支援に繋がるよう行政や諸団体との関係づくり強化をすすめます。

(1) 会員生協の事業や活動に活かせるよう、会員生協同士の活動の共有や交流を深めます。



### 【会員生協の活動共有とお知らせ】

県生協連と会員生協の取り組みを広くお知らせするために「しずおかの生協（パンフレット）」「静岡県生協連NEWS」を行政や諸団体にお届けしました。また、ホームページでは、県生協連の取り組みや会員生協、行政、諸団体の情報を適宜掲載しました。



### 【県委託事業 理事研修会・監事研修会・生協役職員研修会】

昨年に引き続きオンラインで開催しました。理事研修会は「生協法の基礎」、監事研修会は「監事監査の基本と監査のポイント」をテーマに、理事研修会に20名、監事研修会15名が受講しました。講師は日本生協連法務部職員、静岡県県民生活課職員（監事研修会）が務めました。

生協役職員研修会は「令和4年台風15号豪雨災害発生時の支援活動について」とし、災害ボランティア本部の活動について静岡県社会福祉協議会、静岡県ボランティア協会から報告されました。また、ユーコープと生活クラブから事業所の被害状況や被災者支援活動について報告されました。



(2) 行政や政党との関係を深め相互理解をすすめるために、定期的に懇談する場を持ちます。

### 【静岡県暮らし・環境部県民生活課との連絡会】

7月理事会終了後に、静岡県県民生活課との連絡会を開催し、県がすすめる消費者行政の取組みについて共有を図りました。県からは今年度策定した消費者行政基本計画についての説明がされ、生協にエシカル消費の推進などに期待する旨の発言がされました。



### 【東海北陸生協行政合同会議の開催】

第44回東海北陸生協行政合同会議が金沢市内（オンライン併用）で開催され、厚生労働省、東海北陸6県行政職員および生協役職員等53名（静岡県からは7名）が参加しました。行政の活動報告では静岡県県民生活課職員から若者主体の消費者教育・啓発事業、シニア向け消費者教育出前講座事業、生活協同組合との連携（エシカル消費の推進）について報告されました。

### (3) 交流と連携を通じ、築き上げてきた団体間とのネットワークをさらに深めます。



#### 【静岡県協同組合間提携推進協議会（農協・漁協・森林組合との協同）】

協同組合間の連携を図るとともに協同組合の価値を高め地域社会の発展に寄与することを目的に、富士山麓育林活動、水生生物観察会、女性交流集会、協同組合学習交流会、視察研修に取り組みました。協同組合学習交流会には6団体の役職員29名が参加しました。協同組合間の提携を拡大、進めるために必要なスキルとして「チームワークとコミュニケーション研修」を開催しました。



#### 【労働者福祉事業団体との協同・連携】

静岡県労働者福祉基金協会（ALWF）が実施したALWFゼミの実行委員会に参加しました。リーダーコース（中堅職員向けゼミ）では、ろうきん、こくみん共済coopの職員とともに労働者福祉事業の歴史を学びファシリテーション講座を受講しました。

労福協だより（2022年春号、夏号、秋号、2023年新春号）に県生協連の取り組みを掲載しました。静岡県労働者福祉基金協会と共催で「セカンドライフを応援する連続講座」を県内6会場で開催し、のべ647名が参加しました。



#### 【消費者問題ネットワークしずおかの活動】

県生協連が事務局を務める消費者問題ネットワークしずおかでは、県の委託事業「令和4年度消費生活相談員資格取得支援講座」を実施しました。33名が受講し、消費生活相談員資格試験には5名が合格しました。また、2023年1月から2月にかけて令和5年度に向けた基礎講座を実施し50名が受講しました。



# 2023年度活動方針

～スローガン～

行政や諸団体とのネットワークを強化し、会員生協とともに県民の平和でよりよい暮らしにつながる取り組みをすすめます。

1. 平和で安心して暮らせる活動を推進し、住みよい地域づくりに貢献します。

(1) 自然災害等発生時、地域の要請にこたえる取り組みをすすめます。

①平時の備えとして、災害対応計画に基づく訓練や、行政や他団体が主催する防災訓練や図上訓練に協力・参加します。

②災害発生時は災害ボランティア対策本部に参加し、会員生協と連携して対応可能な支援活動を行います。

(2) 核兵器廃絶と平和な社会の実現をめざした取り組みをすすめます。

①ヒロシマ・ナガサキの歴史を見つめ、平和について考える機会を設けます。

②第3の被ばく県として、ビキニ環礁における水爆実験による事件の実相を学び、核兵器の恐ろしさや平和の大切さを広げていきます。

③核兵器廃絶や戦争・紛争など世界の平和に関する情報発信をすすめます。

(3) 組合員・県民の関心が高い地域や暮らしに関わる課題への取り組みをすすめます。

①会員生協におけるフードバンクの取り組みの理解を深め、活動を広めていくことで、食品ロスの削減と生活困窮者の支援をすすめます。

②食と健康（食の安全・安心や食育）に関する情報の積極的な収集と発信を通じて、組合員の健康づくりを応援します。

③会員生協共通の課題や要望に則ったテーマで学習会などの企画をおこない、組合員が地域や暮らしに関わる課題に主体的に関わる契機をつくります。

(4) 地域課題の解決に向けた連携・協同をすすめます。

①地域課題に取り組む組織との連携を深め、諸課題解決のためにできることに取り組みます。

②会員生協と地域との連携が進むように、情報提供をすすめます。

2. 会員生協の活動支援に繋がるよう、行政や諸団体との関係づくり強化をすすめます。

(1) 会員生協の事業や活動に活かせるよう、会員生協同士の活動の共有や交流を深めます。

①静岡県生協連ニュースやホームページを通じ、また各会員生協の広報部局との協力を得ながら静岡県生協連の取り組みや暮らしに関する情報を組合員に提供します。

②理事会などの場で各会員生協間の情報共有をすすめます。

(2) 行政や政党との関係を深め相互理解をすすめるために、定期的に懇談する場を持ちます。

①県行政との連携をすすめ、県民の暮らしに役立つ活動をすすめます。

②政党・会派に生協の事業と活動をお知らせする場を設け、生協への理解をすすめます。

(3) 交流と連携を通じ、築き上げてきた団体間とのネットワークをさらに深めます。

①労働者福祉事業団体の一員として、安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みをおこないます。

②協同組合間提携推進協議会として相互に連携し、地域課題の解決に取り組みます。

③消費者問題ネットワークしずおかに参画し、消費者問題の解決と消費者啓発の取り組みをすすめます。

# 地域購買生協 2022年度市郡別組合員数・加入率状況

東部地域組合員数 (単位：人)					
市町名	世帯数	2022年3月	2023年3月	前年差	加入率
沼津市	83,985	35,297	35,842	+ 545	42.7%
熱海市	17,818	4,594	4,609	+ 15	25.9%
三島市	46,339	19,091	19,145	+ 54	41.3%
富士宮市	52,420	22,463	22,517	+ 54	43.0%
伊東市	31,009	9,056	9,115	+ 59	29.4%
富士市	99,047	51,150	51,541	+ 391	52.0%
御殿場市	33,112	9,189	9,262	+ 73	28.0%
下田市	9,398	2,430	2,439	+ 9	26.0%
裾野市	20,440	8,978	8,941	△ 37	43.7%
伊豆市	11,444	4,430	4,421	△ 9	38.6%
伊豆の国市	19,223	6,695	6,782	+ 87	35.3%
賀茂郡東伊豆町	5,514	5,106	5,180	+ 74	29.4%
賀茂郡河津町	2,879				
賀茂郡南伊豆町	3,285				
賀茂郡松崎町	2,600				
賀茂郡西伊豆町	3,326				
田方郡函南町	15,029	5,745	5,801	+ 56	38.6%
駿東郡清水町	13,186	16,394	16,470	+ 76	44.1%
駿東郡長泉町	17,692				
駿東郡小山町	6,461				
合計	494,207	200,618	202,065	+ 1,447	40.9%

中部地域組合員数 (単位：人)					
市町名	世帯数	2022年3月	2023年3月	前年差	加入率
静岡市	300,026	119,252	120,552	+ 1,300	40.2%
島田市	36,019	19,521	19,511	△ 10	54.2%
焼津市	54,347	17,965	18,084	+ 119	33.3%
藤枝市	54,977	20,665	20,819	+ 154	37.9%
榛原郡吉田町	11,688	4,700	4,707	+ 7	33.2%
榛原郡川根本町	2,501				
合計	459,558	182,103	183,673	+ 1,570	40.0%

西部地域組合員数 (単位：人)					
市町名	世帯数	2022年3月	2023年3月	前年差	加入率
浜松市	327,641	123,872	125,307	+ 1,435	38.2%
磐田市	66,344	26,820	26,939	+ 119	40.6%
袋井市	35,326	18,212	18,465	+ 253	52.3%
菊川市	18,276	6,562	6,699	+ 137	36.7%
掛川市	45,009	19,411	19,881	+ 470	44.2%
御前崎市	11,531	3,922	3,927	+ 5	34.1%
牧之原市	16,093	5,543	5,607	+ 64	34.8%
湖西市	23,518	5,703	5,801	+ 98	24.7%
周智郡森町	6,261	2,921	2,967	+ 46	47.4%
合計	549,999	212,966	215,593	+ 2,627	39.2%

組合員数合計 (単位：人)					
	世帯数	2022年3月	2023年3月	前年差	加入率
その他		2,308	3,279	+ 971	
総合計	1,503,764	597,995	604,610	+ 6,615	40.2%

\* ユーコープ、パルシステム静岡、生活クラブ、あいち生協の組合員数合計です。

\* 組合員数は2023年3月現在

\* 世帯数は2023年3月1日現在の県統計資料より

\* 行政区分は2023年3月現在 (35市町)

## 2022年度 行政及び日本生協連、諸団体関係の各種委員一覧表

静岡県行政関係 審議会・委員会等	氏名	役職名
静岡県消費生活審議会 委員	稲垣 滋彦	会長
静岡県水産振興審議会 委員	稲垣 滋彦	会長
しずおか食の安全推進のための意見交換会 委員	稲垣 滋彦	会長
静岡県食と農が支える豊かな暮らしづくり審議会 委員	中村 範子	常務理事
静岡県多面的機能支払交付金第三者委員会 委員	中村 範子	常務理事
ふじのくに消費者教育推進県域協議会 委員	中村 範子	常務理事
ふじのくに生物多様性地域戦略推進会議 委員	中村 範子	常務理事
静岡県ごみ減量・リサイクル推進委員会 委員	中村 範子	常務理事
しずおか地産地消推進協議会 委員	中村 範子	常務理事
しずおか男女共同参画推進会議 委員	望月 美可	常務理事
障害を理由とする差別解消推進県民会議 委員	望月 美可	常務理事

日本生協連関係 審議会・委員会等	氏名	役職名
全国職域生協協議会 運営委員	藤崎 稔	理事
同 購買事業小委員会 委員		
中央地連運営委員会 委員	飯田 知男	専務理事
	中村 範子	常務理事
中央地連県連活動推進会議 委員	飯田 知男	専務理事
中央地連職域生協協議会 委員長	藤崎 稔	理事
中央地連大規模災害対策協議会 委員	山田 和仁	事務局長

諸団体関係 審議会・委員会等	氏名	役職名
静岡県協同組合間提携推進協議会 副会長	稲垣 滋彦	会長
同 委員	飯田 知男	専務理事
同 副幹事長	望月 美可	常務理事
同 事務局	山田 和仁	事務局長
静岡県経済連事業審査委員会 委員	中村 範子	常務理事
静岡県労働者福祉協議会 副理事長	稲垣 滋彦	会長
同 幹事	飯田 知男	専務理事
静岡県労働者福祉基金協会 理事	飯田 知男	専務理事
フードバンクふじのくに 副理事長	稲垣 滋彦	会長
消費者問題ネットワークしずおか 幹事長	中村 範子	常務理事
同 事務局長	山田 和仁	事務局長
原水爆禁止静岡県平和行進実行委員会 代表委員	稲垣 滋彦	会長
3・1ビキニデー静岡県実行委員会 代表委員	稲垣 滋彦	会長
同 運営委員	望月 美可	常務理事